※令和４年度以降入学生用

学校番号	２２０１

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	2	年次	２～４
使用教科書	高等学校 倫理（第一学習社）						
副教材等	アプローチ倫理資料 PLUS（東京法令出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

人間としての在り方生き方について、ギリシア思想、キリスト教、近代ヨーロッパの思想などの代表的な先哲の思想や芸術家とその作品を手掛かりとして広い視野に立って主体的かつ公正に判断できること。そのなかで「人間の尊厳と生命への畏敬」や「自然と科学技術と人間とのかかわり」について人格形成に寄与する知識として身につけていくことをめざします。

また現代の諸事象について、倫理的視点から主体的に課題を見いだし、自らの思考で探究できる力を持てることが目標です。もし興味をもった先哲がみつかって、残した著作を手に取って読もうと思ってもらえたら望外の喜びです。

2　学習の到達目標

① 現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付ける。
② 現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。
③ 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	古今東西の幅広い知的蓄積を通して，現代の諸課題を捉え，より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けている。	自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や，現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して，論理的に思考し，思索を深め，説明したり対話したりしている。	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題に関連して，学習上の課題を意欲的に追究しようとしたり，他者と共によりよく生きる自己の形成に向けて，多面的・多角的に考察しようとしたりしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期（後期）	人間の心と自己形成	・青年期の課題と自己形成	a:人間の感覚・学習・思考・行動・発達に関して、心の仕組みと成り立ちから理解することができる。 b:自分の生きている青年期はどのような位置にあり、どのような発達課題があるのかを考えている。様々な人間の心のあり方を踏まえて、人間とは何かを思索し、他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深めている。 c: 様々な人間の心のあり方について、科学的に探究した各種の実験や観察、調査に基づく統計的な分析の結果を読み取ったり、対話や作文などを通して学習を深めたりしている。	小テスト 定期考査	定期考査 レポート	授業観察 振り返りシート ノート (プリント)
	人間の存在や価値と宗教	・ギリシアの思想 ・ユダヤ教とキリスト教 ・イスラーム ・仏教 ・中国の思想 ・宗教や芸術	a:古代における古今東西の思想や宗教についての概念を、人間の徳や幸福という観点から理解することができる。 b:古代における古今東西の宗教家の生涯と思想を通して、「よく生きること」の意味について考え判断することができる。 c:古代における古今東西の宗教が描く人間の生き方や在り方について、或いは自己自身の生き方や在り方に深く関わるものとして、関心をもって学ぼうとする意欲・態度をもっている。	小テスト 定期考査	定期考査 レポート	授業観察 振り返りシート ノート (プリント)
	人間のあり方と社会	・人間の尊厳 ・科学革命の時代と自然観 ・自由で平等な社会の実現 ・人間性の回復と主体性の確立	a:近世から現代における思想について、それぞれの時代背景や時代の流れを踏まえながら基本的な知識理解をもつことができる。 b:近世から現代における思想について、近世からの人間観と現代の人間観を比較し、現代的な課題について客観的で公正な判断をくだすことができる。科学方法論や人間観・世界観の特徴を客観的に考えその意味について適切に判断することができる。現在の私たちにも深く関わる思考であることを認識し、その現代的な意味について適切に判断することができる。 c:近世から現代における思想について、それらが現代に生きる私たちの芸術に興味や関心をもち、探求する意欲や態度をもっている。近代科学の方法の確立とその発展及び科学の原理的考察に関して関心をもち、探求する意欲や態度をもっている。	小テスト 定期考査	定期考査 レポート	授業観察 振り返りシート ノート (プリント)
	現代の人間と社会をとらえる思想	・現代の思想と人間像 ・生命への畏敬と社会参加	a:現代の倫理的課題について、多様な観点から、種々の情報資料を収集調査し、問題点や課題の所在を明確化し、まとめることができる。 b:科学・技術、合理化や進化、等々の状況を踏まえて、現代の倫理的課題について考察し、客観的な判断をもつことができる。 c:現代の倫理的課題について、政治や経済、社会、文化的状況を踏まえて関心をもち、考えようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 レポート	授業観察 振り返りシート ノート (プリント)
	国際社会に生きる日本人としての自覚	・日本固有の思想 ・外来思想の受容 ・町人意識のめざめと庶民思想 ・西洋思想との出会い	a:古来よりの日本人の心情と考え方は、日本の風土で生活する中で育まれたことを理解している。日本の思想や文化に大きな影響を与えている仏教や儒教などの外来思想が日本にどのように伝えられ、どのように変容していったのかを大きな流れで理解している。 b:日本人の意識や心情の底流となっている物事の捉え方、望ましい対人関係を考察している。義理と人情、倹約と正直、勤労の倫理など、現代に流れる思想に対する興味・関心を高め、日本人の庶民思想や勤労倫理の特質はどこにあるのかを考察している。日本人のものの見方・考え方の中で、西洋思想の受容によって形成されたと考えられるものについて資料を収集し、国際社会に生きる日本人としての生き方・考え方を考察している。 c:古来よりの思想や外来思想の受容をもとに、国際社会に生きる日本人としての人間観，自然観、宗教観などの特質について、主体的に考えている。	小テスト 定期考査	定期考査 レポート	授業観察 振り返りシート ノート (プリント)

※令和４年度以降入学生用

	自然や科学技術にかかわる諸課題と倫理	・生命の問題と倫理的課題 ・地球環境の問題と倫理的課題 ・科学技術の進展と倫理的課題	b:生命科学や医療技術の発達を踏まえ、生命の誕生、老いや病、生と死の問題などを通して、生きることの意義を思索している。人間の生命は自然の生態系の中で植物や他の動物との相互依存関係において維持されており、共存関係が大切であることについて思索している。科学技術の進展を踏まえ、ＡＩをはじめとした先端科学技術の利用と人間生活と社会のあり方について思索している。 探究した結果を，「自分の考えをまとめる」「問題点を話し合う」などの方法で適切に表現している。 c:生命・地球環境・科学技術をめぐって問題となっている事例を収集し，主体的に解決しようとしている。		定期考査 レポート	授業観察 振り返りシート ノート (プリント)
	社会と文化にかかわる諸課題と倫理	・福祉の向上と倫理的課題 ・文化と宗教の影響と倫理的課題 ・国際平和と倫理的課題	b:ボランティア体験など福祉に関わる多様な体験をもとに、思索を深めている。異なる文化や宗教をもつ人々を理解し、共生に向けて思索している。平和について、人類全体の福祉の向上といった視点からも考察，構想している。探究した結果を，「自分の考えをまとめる」「問題点を話し合う」などの方法で適切に表現している。 c:福祉・文化や宗教・国際平和をめぐって問題となっている事例を収集し、主体的に解決しようとしている。		定期考査 レポート	授業観察 振り返りシート ノート (プリント)

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度